

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

キノリンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験－21日間

試験番号

第 0 7 0 3 5 号

試験方法

本試験はOECD化学品テストガイドライン 204「魚類延長毒性試験－14日間」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：キノリン
- 2) 方 式：流水式(定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3) 供試生物：ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 温 度：24±1℃
- 5) 曝露期間：21日間
- 6) 試験水槽：10L容角形ガラス製水槽
- 7) 流量及び換水率：50ml/分，約8回/日
- 8) 生 物 数：20尾/濃度区
- 9) 照 明：16時間明/8時間暗
- 10) エアレーション：無し
- 11) 試験濃度：対照区，助剤対照区，1.0，2.2，4.8，10，22及び48mg/L
- 12) 試験水中の被験物質の分析方法：高速液体クロマトグラフ法(0，7，14及び21日後)

結 果

- 1) 21日間の最小致死濃度 = 10mg/L
 - 2) 21日間の最小作用濃度 = 10mg/L
 - 3) 21日間の最大無作用濃度 (NOEC) = 4.4mg/L
 - 4) 7日間の半数致死濃度 (LC50) = 54mg/L以上
 - 5) 14日間の半数致死濃度 (LC50) = 32mg/L (95%信頼区間：31～33mg/L)
 - 6) 21日間の半数致死濃度 (LC50) = 29mg/L (95%信頼区間：28～30mg/L)
- (上記の濃度は，全て実測値に基づく値)